

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	奈良県	市町村名	斑鳩町	地区名	法隆寺周辺地区	面積	220 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

目標
大目標: 安全・安心で心豊かに暮らせるまちづくりの推進 目標1 地域コミュニティ活動の活性化 目標2 地域防災・防犯性の向上と住民の安全性の確保 目標3 社会活動の充実と支援

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 斑鳩町は標高316mの松尾山を最高点とする山地部から大和川に至る南に向かって、なだらかな傾斜を持ち、山地、丘陵、平野にバランスよく3分されており、自然環境を守るために自然環境保全地区、近郊緑地保全地区、歴史的風土保存区域、風致地区などが指定されている。また、町内には法隆寺、法輪寺、法起寺、中宮寺をはじめ藤ノ木古墳などのロマンあふれる古墳群など世界に誇る歴史的遺産が点在し、豊かな自然環境に調和して広く「斑鳩の里」の名で親しまれている。平成5年には、法隆寺地域の仏教建造物が世界文化遺産に登録され斑鳩町全体が持つ歴史的な価値が内外に改めて注目されることになった。このような背景にあってまちづくりのテーマ(将来像)として「ともに生き、ともに育むまち、歴史と文化が暮らしの中に息づく」新斑鳩の里」を設定し、「世界文化遺産のある町」として町民憲章に掲げる「和」の精神を尊び、その歴史的風土を生かした斑鳩らしさを住民とともに創出し、愛すべきふるさと「新斑鳩の里」を未来へ引き継ぐことを目指している。そうしたなか、近年、当町においても全国的な傾向である少子高齢化の急速な進展を背景に、改めて地域社会のあり方を見直し、地域でのコミュニティ活動への支援など、互いに助け合い支えあうコミュニティを再構築することが大きな課題となっている。そこで第4次総合計画では、住民、事業者、行政が協働したまちづくりを目指すこととしており、そのためには活発な地域コミュニティの形成が欠かせないことから地域の集会施設の整備やコミュニティ活動に伴う拠点施設へのアクセスの安全性の向上に向けた施設整備を行うとともに、地域の防災拠点を整備し、安全・安心で心豊かに暮らせるまちづくりの推進を目指す。
課題 ・自治会、ボランティア団体等の活動を行なう拠点整備が不十分である。 ・地域における安全、安心を確保するため、防災・防犯面での施設整備が必要であり、避難所やアクセス道路、防犯灯等の安全対策等が課題となっている。 ・少子高齢化・核家族化の進行により、社会との関わりが希薄化しており、社会との関わりを促す機会を促す施策が必要となっている。
将来ビジョン(中長期) 第4次総合計画のスローガンである「ともに生き、ともに育むまち 歴史と文化が暮らしの中に息づく「新斑鳩の里」」は、「住みたい、住んでよかった、住み続けたい」と思える「愛すべきふるさと斑鳩」の実現に向け、住民と行政が協力して、このまちを育てているという思いが込められており、子供や高齢者等を地域で見守り、支援しながら、安全に安心して元気に生き生きと暮らせ、人と人が交流するにぎわいのあるまちづくりを進めていくことが必要である。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
コミュニティ施設利用者数	人/年	1年間の施設利用人数	新たな活動拠点整備に伴い、自治会等による利用が見込まれる。	150	平成22年度	720	平成27年度
道路の通行者数	人/日	アクセス道路の通行人数	道路幅員が拡幅し、利便性・安全性向上することで通行者の増が見込まれる。	610	平成23年度	680	平成28年度
健康スポーツ教室参加人数	人/年	健康スポーツ教室の参加者数	健康スポーツ教室を開催し、社会参加者数の増加を図る。	0	平成22年度	25	平成27年度